

関東甲信越支部長活動報告

2012年8月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

9月11日(火)は17時より支部で会員集会が開催されます。本部理事会並びに規程類特別委員会では今年度末を目標に支部、地域会に関する規程類制定の準備を進めています。支部では7月の地域サミットで本部特別委員会資料を地域会代表の皆様にご説明し意見交換をいたしました。また8月末頃を目途に地域会ごとの規約を検討いただきながらご意見、ご質問を送っていただくようお願いしました。会員集会では規程類特別委員会委員長の小田副会長にお越しいただき、現在議論されている規程類案並びに地域会からのご意見、ご質問を基に意見交換してまいります。多くの皆様のご出席をお待ち申し上げております。

支部長活動報告

- 1日 第4回東京三会建築会議が開かれる。東京都建築士事務所協会が毎年、都と国に出している要望書提出前なので先月に引き続き開催する。事務所協会の要望書案は作成されており例年通り単独で出すことにする。三会合同要望書については共同で設計者選定問題について協議会開催を働きかけていくこととする。登録建築家制度と専攻建築士制度について、基準を別にした認定機関の一体化が本部で話し合われている。UIA 東京大会の中、5会で宣言した「建築・まちづくり宣言」を基準に取り入れていく。他国でも住宅の免税措置があるように、消費税アップ前後の反動(平成25年)への対策が必要だ。不動産業界はどのように対策を取るのか興味のあるところだ。7月に事務所協会でまとめた事務所法について前回の三回会議で示されたが、東京建築士会内で報告をし、士法の課題として一緒に考えていきたいとの報告がある。
- 2日 国際委員会WG「外に出よう!建築家」シンポジウムについて会議。
- 7日 規程類特別委員会をWEBにて開催。支部、地域会の本部規程に関する討議。
- 20日 規程類特別委員会を再度開催。準会員、協力会員という新しい会員制度について討議する。
- 22日 国際委員会開催。9/29「外に出よう!建築家」シンポジウム。10/25 中国建築学会(ASC)来日。10/28~11/3 アルカシア大会がバリ島にて開催。

- 23日 横浜大会実行委員会開催。全出展者に対して、9月初旬にプログラム詳細を再確認する。公式プログラムの原稿は9月末を締め切りとする。各プロバイダーには修正があれば9月末までに更新するよう依頼する。
- 24日 横浜大会で組まれているクルーズツアープログラムを体験する。横浜から川崎までの京浜工業地帯の夜景を2時間かけて巡るツアーで、神奈川地域会の皆さんのご尽力により、海上での一時の涼風を楽しんだ。
- 29日 東京都建築士事務所協会第一ブロック協議会の懇親会に参加。中央、千代田、港、新宿の4支部による懇親会。東京都の都市整備局市街地建築部長の砂川氏に東京三会建築会議について報告し、興味を持っていただく。
- 30日 JSB 会議に参加。若手実務者支援プログラムについてタイと上海の反応が報告される。タイ王立建築家協会からは担当者の紹介があり、積極的に進めたい意向。上海建築学会からは1年間という長い期間、中国から若手を送り込むのは困難だが、2,3週間ならば中国の事務所も興味を持っている。日本人若手建築家の受け入れについては前向きな返事を得ている。資格制度委員会が開催される。芦原会長が出席される。JIA, 士会で資格制度に関する合同の協議をしている。それぞれの制度の認定基準は独自に維持し、認定機関を一緒にする案が浮上している。JIAはUIA基準を堅持し、国際的に通用する国家資格となりうる制度としてこれを維持していく。

支部長活動報告 2012年8月

2012年9月8日作成 上浪 寛